



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service

2012-13年度 RI会長／田中作次 RI.D2590ガバナー／露木雄二 横浜旭RC会長／山崎良三

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F
TEL.045-365-3273
FAX.045-365-3132
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



2012年11月14日 第2080回例会 VOL. 44 No. 19

- 司会 SAA 田川 富男
- 開会点鐘 会長 山崎 良三
- 斉唱 我等の生業
SL 小嶋 宏樹

■出席報告

会員数	35名	本日の出席数	25名
本日の出席率	80.65%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

安藤公一、内田、斎藤、二宮、福村、増田

■恵送を受けた週報

横浜瀬谷 RC

■地区大会 長寿表彰



- | | |
|---------|---------|
| 綿貫 守一会員 | 吉野 寧訓会員 |
| 矢田 昭一会員 | 安藤 達雄会員 |
| 黒瀬 一敏会員 | 大谷 蓉子会員 |
| 岡田 清七会員 | 高梨 昌芳会員 |

■地区大会 出席率表彰 (地区第2位 98.81%)



■会長報告

先日11月9,10日にわたり地区大会が開催されました。出席率第2位、40年以上出席率100%の二宮さん、30年以上100%の関口さんと黒瀬さんが表彰されました。ほかに長寿会員の表彰もありました。重ねておめでとう御座いました。

○地区関係

1) 露木ガバナーから地区大会のコ・ホストクラブ協力活動へのお礼の通知がありました。

2) 8クラブ合同例会のご案内

日時 平成13年1月30日(水)

場所 新横浜国際ホテル南館

会費 会員 10,000円 家族 8,000円

3) RYLA 委員長、ガバナーより

青少年指導者養成セミナー発表会及び修了式

日時 11月24日 15:30～18:30

場所 かながわ県民サポートセンター
402 会議室

■第8回理事役員会議事録

日時 11月7日(水)午後6時30分

場所 クラブ事務所

出席者(敬称略)

山崎、安藤公一、佐藤、後藤、福村、齋藤、
倉本、今野、内田、青木

欠席 漆原、新川

○報告事項

1) RI 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会対象者追加
新川会員

2) 地区大会登録

大会登録料 310,000 円

歓迎晩餐会登録料 15,000 円

10/5 送金 計 34,0420 円

3) IM 実行委員会における旭 RC 担当委員の
推薦

安藤公一会員、新川 尚会員を推薦

4) 事務所の電話、FAX を光ファイバーに変更
毎月約 3,000 円の経費節減

○審議事項

1) 北澤正浩氏入会について
承認

2) IM より被災地支援についての
発表依頼 千葉会員

3) 会計報告
今後 2 カ月ごとに理事会にて報告

4) 震災復興支援 8 クラブへ依頼
ガバナー補佐が協力

主旨は了解、
行動は震災復興委員会に一任します。

■災害復興支援部会 千葉 和裕

1) 旭ふれあい区民まつりの収支報告
7 ページ参照

2) 8 月末の岩沼メロンについて
当クラブに於いて 30 個お買い上げ頂きました。
現地生産者の方々も大変喜んでおられた
との事です。御協力有り難うございました。

3) 個々の支援活動について
それぞれ会員個人、または所属会社で独自
に支援活動をされている方々が多くおられる

と思います。当部会ではそのような活動につ
いても報告する義務があると考え、情報収集
をしたいと思います。アンケート用紙をお配
りしますので、ご記入して頂き、千葉までご
返信よろしくお願い致します。

■親睦委員会 兵藤 哲夫

1) 希望が丘大番寄席のお知らせ

日時 12月2日(日)

開演 14 時 宴会 16 時 30 分より

2) クリスマスパティーのお知らせ

日時 12月15日(土)午後6時30分

場所 キャメロットジャパン

多数のご参加をお願い致します。

■雑誌委員会 吉原 則光



地区雑誌委員長会議の要旨

日時 11月1日(木)午後3時～

* 座席はグループ別に 8 つのテーブルに分か
れる。

第 1 部

○露木ガバナーの挨拶

○講話「ロータリーの友」二神編集長

- ・会員に R 指定記事の紹介を
- ・各クラブの活動を寄稿して「創る友」に
してほしい
- ・ロータリー徽章の適切な使用を

第 2 部

円卓会議の形式で各クラブが発表し、最後
にガバナー補佐がまとめを発表するグループ
別会議

○二神編集長の講話

- ・原稿の投稿のコツの紹介と質疑

・会員勧誘のための広報誌 ROTARY の紹介
以上会議の概要報告と致します。

■情報集会報告

新川 尚



Cグループ

日時 11月5日(月)午後7時～

場所 い志井

出席者(会員敬称略)

二宮、兵藤、田川、千葉、新川

体験例会、会員増強について

- ・体験例会時のお客様が積極的だった
- ・体験例会をやることによる口コミ、広報効果は大きかったのではないか
- ・DMを使って集客してみたかどうか
- ・体験例会時の卓話に著名人を起用してはどうか
- ・会長、幹事がもっと積極的に、関わるべきでは
- ・普段の活動においても、もっと他団体と協力すべき
- ・今回の体験例会の影の功労者は 辻会員

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

高梨 昌芳／お久しぶりです。いろいろ会よりお祝い品等をいただきありがとうございました。

兵藤 哲夫／高梨さんようこそ！！お元気そうでうれしく思います。

松本 英二／地区大会おつかれさまでした。登壇させていただき有り難うございました。

田川 富男／辻さん、ロータリー財団教えてください。宜しくお願いします。

新川 尚／昨日、GSE南アフリカチームが無事にそれぞれ旅立ちました。活動へのご協

力ありがとうございました。

岡田 清七／本日の読売、神奈川新聞の朝刊にドーナツの件が記事になり(ミキサーの一部が入って回収したのですが)ご迷惑おかけいたしました。お詫び致します。

吉原 則光／①過日の地区大会では大変お世話になりました。長寿会員の多いのには驚きました。②辻さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

綿貫 守一／辻さん卓話よろしくお願ひ致します。

小嶋 宏樹／妻に誕生日祝いの素晴らしいお花いただきました。ありがとうございました。

■ロータリー財団月間卓話

クラブ財団委員長 辻 修



皆さんこんにちは。

早いもので今年もまたロータリー財団月間となりました。

毎年この卓話の時間となりますと寄付のお願いとか地区からその関係の方を招聘してお話を伺うことなどが通例となっております。クラブの活動計画書や報告書を遡ってみても年々「寄付」についての目標が繰り返えされ寄付集め以外のことに触れていることは少なかったように思います。

例えばGSEをはじめ日本を出入りする奨学生などは本来は財団委員会の仕事であるにもかかわらず委員長が音頭をとることもあまり見掛けておりません。

地区からお招きして伺う卓話にしても複雑さばかりが目立ってよく分からない、また感

動して寄付を喚起するような内容もあまり聞いたことがありません。地区の財団関係がタテ割りの構造になっていて聞く方がある程度の知識を持っているか、余程興味を持って聞くとかでないかと反って身近な親しさから遠ざかったものになってしまいます。

しかし、毎年、期の始めにクラブ委員会に与えられる「ロータリー財団委員会の手引書」には「クラブ財団委員会の最も重要な責務はロータリー財団について会員を教育することにある」とはっきり謳っております。それなのに財団委員会は寄付のことばかりを扱う委員会だなどと思われているとしたらなんともしみしいことであります。

とは言っても地区から年々露骨に示されるクラブ毎の寄付額、累積額の諸表、地区大会での表彰などを目に入れ耳に入れますとロータリーという一定の閉じられた社会のなかで毎年繰り返されるその光景は当初の純粋な善意はどこかへ飛んでしまってノルマが気になって仕方がないのも事実です。

先日も前期幹事の千葉さんから、当クラブの寄付金の低迷ぶりに言及する話がありました。年次寄付やベネファクター等の寄付についてはさ程ではありませんが確かにポリオプラスなどは下から10番組に入るほどの成績不振であったことに間違いありません。

しかし、だからと云って声を高くして皆様をお願いします？ などという気にもなれないでいました。財団であれ、米山であれ閉じられた社会の中での寄付の競い合いはなんともやるせなくさみしい姿でありそれが今日のロータリーの哲学を瘦せたものにしてしまっているかのように思っていたからであります。私の偏見かも知れませんがそもそも「寄付」という形式やその言い回しがおかしいのであって、そのお金は結果的に自分達のところへまた帰ってくるお金であり、それどころか発想や企画の如何によってはその何倍も他人の出したお金も自由に使える程の箔の付けて帰ってくるものであります。

「さあ、このお金を使ってこんどは国際ロー

タリアンとしてグローバルな奉仕活動をしなさい、これはその資金ですよ」といわれる性質のものなのです。

「私達はこの横浜旭をロータリー生活の戸籍としていますが、同時に私達は世界のロータリアンの一員なのだ」と云う自覚なくしてロータリー財団について理解をすることは出来ません。

このことは特に新しく入会された会員の方々にはよく理解して置いて頂きたいことでもあります。ロータリークラブに入会すれば同時に国際ロータリークラブの一員としてその資格と義務が生じるのです。

通常、どこのクラブでもクラブの運営費と奉仕活動費の資金は同じ釜の中で振り分けられています。国際ロータリーについてはこれが別々になっていると考えればお分かりいただけるかと思えます。

R・Iつまり国際ロータリーの年会費は皆さんの会費の中から「人頭分担金」としてR・Iに送金されていますがその一方、国際ロータリアンとして何らかの奉仕活動をグローバルに展開してゆく、その資金がこの財団のお金であります。

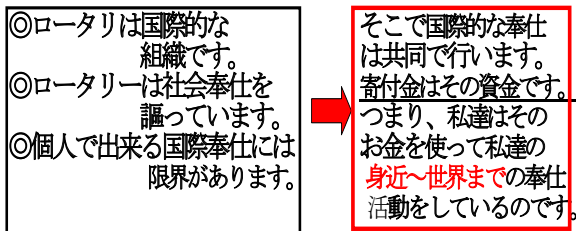
ところが奉仕活動とはお金や口を出すばかりでなく実際に汗を流すこと、そのふたつを伴ってこそ誠意ある奉仕と云えるものではないでしょうか。

ところで、実際にはブラジルの密林の奥にまで行って文盲の教育をしたり、バングラディッシュに井戸を掘る、などは実際に自分が汗を掻きたくても不可能なことです。だから、せめて資金を提供して誰か専門の方や現地の方に汗をかいてもらっているのです。

一方、同じ地球上でも自分達のこの地域は直接に企画も活動も進められます。その時の汗は自分達の汗、お金はこの財団のお金をお使い下さい、ということになるのだと思います。これが地区を通して使える「人道的補助金」などとなにやら難しい名前の財団のお金なのです。旭ロータリーも数年前はこのお金を使って楽しいことをいっぱいやりましたね。

ロータリー財団 皆さんの寄付金の行方 I

大切なことは私達はクラブの会員であると同時に国際R.C.の一員であるということです。



また、ポリオ撲滅運動のようになRIの企画でなくても海外とのクラブ同志、地区同志でグローバルな奉仕活動をするのならば応援しますよ、として資金を振り分けているのがマッチング・グラントです。

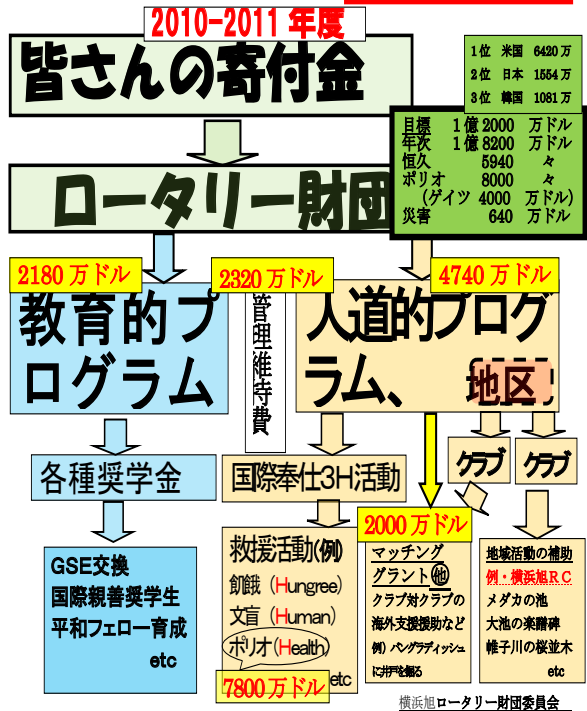
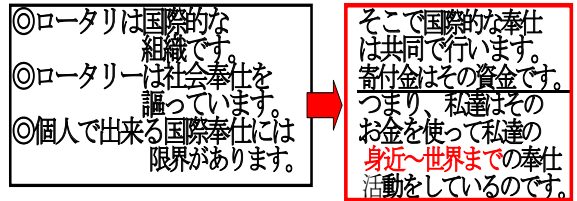
残念ながらこれは我が旭ロータリーには未経験の分野です。しかし世界中で、日本中で、2590地区でもそのような活動をして財団のお金を使っているクラブはたくさんあります。

「財団月間ですよ、寄付をお願いします」などとして寄付集めばかりに終始して小さくチジこまっているとせっかく出したお金もそういうクラブを支援するだけにまわってしまってもったいないような気がします。

我がクラブにも若い方々が入会してくるようになりました。その活力を是非、海外にも向けて今様の若者らしく財団のお金を使って活躍するようになれば素晴らしいことです。きっと地区の成績など気にしなくても伸び々と財

ロータリー財団 皆さんの寄付金の行方 II

大切なことは私達はクラブの会員であると同時に国際R.C.の一員であるということです。



団の理想を掲げることになるでしょう。それどころか反って出した以上に使ってしまったなど反省する場面さえ生じるかも知れません。

我が旭ロータリークラブの若者達が財団を足場にして海外に「奉仕の証し」を打建てる、そんな日がくることを祈っております。

さて、今日は皆様に寄付をお願いをするばかりではなく過去にご協力いただいたお金がどのように使われているのか、財団がどのような状況にあるかを説明したいと思います。その上で、皆様がさらに財団について理解され、たとえ以前と同額のお金であってもさらに暖かい気持ちをもって寄せて頂ければ幸いです。特に入会されたお二人の方にはよく理解して頂き他の委員会についてはまだ分からないけれど財団についてだけは分かった、と思って頂ければとてもうれしく思います。

今日ではロータリー財団は収入にしても支出

にしても形式ばったものとなっておりますがその濫觴ともいうべき時代には誠に善意に溢れ誠意に満ちたるわしい発想がありました。今を遡ること実に95年前、それはときのR.I会長「アーチ.C. クランフ」氏が「ロータリーは世界で何か良いことをしたい」という単純で純粋な言葉をもって基金の設置を提案したことに始まります。この言葉は忽ち当時の全ロータリアンを魅了しポケットマネーから始めて10年後には当時の金額で5,000ドルに達しました。

この基金が「ロータリー財団」と名付けられR.Iから独立性をもって運用されるようになりました。いまだに「寄付」の形を取るのもこのあたりにひとつの由来があるのかもしれませんが。さらに、1947年、ロータリーの父ともいうべきポール・ハリスが死去するとそれを期に世界中にその気運が高揚し多くの寄付が寄せられました。こうして現在の地球を覆うロータリーとロータリー財団が、成長したのであります。

つぎにお金の収支を通して財団プログラムの構造を大雑把に説明致します。

「皆さんの寄付金のゆくえ」Ⅰ

「皆さんの寄付金のゆくえ」Ⅱ

いずれも、5ページ参照

何度も繰り返してきましたが要は「私達はこの横浜旭ロータリークラブを在りかとしていますが、私達は同時に世界のロータリーの一員なのだ」と云う自覚なくしてロータリー財団について理解することは出来ません。

さて、ここで国際的な意味をもってぜひ皆様にお勧めしたいものがあります。

これはロータリー・カードです。決済会社はオリコですがロータリー上の様々な特典が付いております。

例えば買い物によるポイントが今回お願いしている年次寄付に振り当ててに使えます。また利用額の0.3パーセントがご本人の負担にはならないで、ご本人の名前で財団に寄付されます。

私はこのカードのロータリー・ロゴの権威を当てにして先日、成田の空港ラウンジでビールを一杯ただ飲みしようとしたらゴールドカードでないとダメだと断られました。ですから今から入られるならば年会費一万円が掛りますがゴールドカードをお勧めします。かく云う私のものは未だに年会費無料のシルバーで大きな事はいえないのですが海外に出るときはロータリーの身分証明として持っていくことにしています。

10年ほど前なのですが韓国の釜山に行ったとき飛び込みでそのうえ単独で海外メーキャップを経験しました。もちろん先方には日本語の堪能な方がいるはずだと踏んでのことでしたがそのときポーズとして名刺代わりこれを見せました。海外のクラブまで行ってシルバーを使ったのかと笑われそうですが、このカードも出来たばかりの頃でゴールドなどない時代のことでしたからご安心ください。

さて、本日は財団月間ということで地区の講師を当てにしないでクラブ委員長の私が直に話をさせて頂きましたが幾分でもご理解いただけたでしょうか。

来期より財団は大分変って生まれ変わるのだと聞かされていますが私見で顰蹙を買うかも知れませんが新しい用語や言い回しがぐるぐる変わったところで財団の意義や目的はそんなに変わるものではありません。

繰り返して申し上げますが私達が国際ロータリアンの一員としてロータリー精神に邁進すること以外に何がありますでしょうか。

財団に寄付を寄せるのではありません。自分達自身の奉仕するところに寄付をよせるのです。その寄付行為はお金の額ではなく誠心誠意をもってそれを提供するロータリアンの純粋さが大切なのではないのでしょうか。

ご清聴有難うございました。

■次週の卓話

一般卓話 内田会員

週報担当 安藤 達雄

旭ふれあい区民祭り

使 途	細 目		支出	収入	累計	備 考
西友	紙コップ		2,668		-2,668	
					-2,668	
辻 修	出汁・スプーン他		10,000		-12,668	
					-12,668	
売上	トマト麺	150袋*500円=75,000		75,000	62,332	
	小松菜麺	150袋*500円=75,000		75,000	137,332	
	玄米麺	150袋*500円=75,000		75,000	212,332	
					212,332	
寄付				112,570	324,902	送付する金額(麺代+寄付)
岩沼RC	トマト麺	150袋*400円=60,000	60,000		264,902	
	小松菜麺	150袋*400円=60,000	60,000		204,902	
	玄米麺	150袋*400円=60,000	60,000		144,902	麺代を差し引いた金額(義援金)
※ 書籍につきましては9冊売れましたので、別途1575円*9=14,175円売上をお振り込み致します。						

第51回AKS会ゴルフコンペ報告書

安藤達雄

開催日 平成24年10月30日(火)
場所 小田急藤沢ゴルフクラブ

当日は快晴で、気温も22度と絶好のゴルフ日和となった。主催は瀬谷RC、参加者は当旭RC8名、瀬谷RC8名、鶴峰RC4名合計20名
小生はハーフでもよいつもりで参加したが、体調良
く何とか18ホール完走できて良かった。

氏名	out	in	合計	HC	NET	順位	新
A千葉和裕	44	39	83	9		準優勝	7
A安藤達雄	60	66	126	30	96	BB	
S依田紀久子	55	55	110	36	74	4	
S高橋更一	50	55	105	24	81	8	
A関口友宏	42	46	88	10	78	6	
A青木邦弘	57	57	114	27	87	15	
S平本玲子	60	64	124	36	88	16	
S久保田雅徳	50	67	117	20	97	BM	
K津曲俊之	50	50	100	15	85	11	
K宮島英年	57	59	116	25	91	18	
A綿貫守一	54	52	106	20	86	13	
A安藤公一	49	49	98	13	85	10	
A倉本宏昭	46	51	97	15	82	9	
A山崎良三	49	60	109	18	91	17	
S森本 潔	57	57	114	27	87	14	
S山田晃嘉	45	47	92	21	71	優勝	16
K井上 功	45	47	92	13	79	7	
K寺尾三樹男	51	42	93	19	74	3位	17
S須賀広隆	56	59	115	30	85	12	
S高野 堅	51	46	97	20	77	5	

入賞者
優勝 S山田晃嘉
準優勝 A千葉和裕
3位 K寺尾三樹男
4位 S依田紀久子
飛び章 5位 S高野 堅
10位 A安藤公一
15位 A青木邦弘

平成24年10月度出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率			
1	青木邦弘	100	0	100	21	岡田清七	－出席規定免除－					
2	安藤公一	100	0	100	22	大谷蓉子	－出席規定免除－					
3	安藤達雄	－出席規定免除－			23	斎藤善孝	40	60	100			
4	千葉和裕	80	20	100	24	佐藤真吾	80	20	100			
5	福村正	100	0	100	25	関口友宏	100	0	100			
6	後藤英則	100	0	100	26	田川富男	60	40	100			
7	兵藤哲夫	－出席規定免除－			27	高梨昌芳	－出席規定免除－					
8	市川慎二	100	0	100	28	辻修	－出席規定免除－					
9	五十嵐正	100	20	120	29	内田敏	80	20	100			
10	川瀬恵津子	－出席規定免除－			30	漆原恵利子	100	0	100			
11	小嶋宏樹	60	40	100	31	綿貫守一	－出席規定免除－					
12	今野丁三	－出席規定免除－			32	矢田昭一	100	0	100			
13	倉本宏昭	80	20	100	33	山崎良三	100	0	100			
14	黒瀬一敏	－出席規定免除－			34	吉原則光	100	0	100			
15	町居信哉	－出席規定免除－			35	吉野寧訓	－出席規定免除－					
16	増田嘉一郎	60	40	100	36							
17	松本英二	40	60	100	37							
18	二宮登	100	0	100	38							
19	新川尚	80	20	100	39							
20	太田勝典	－出席規定免除－			40							
例会日		3日		10日		17日		24日		31日		平均
例会出席率		$\frac{26}{29}$	% 89.66	$\frac{29}{31}$	% 93.55	$\frac{24}{27}$	% 88.89	$\frac{24}{31}$	% 77.42	$\frac{25}{28}$	% 89.29	
修正出席率		$\frac{29}{29}$	% 100	$\frac{31}{31}$	% 100	$\frac{27}{27}$	% 100	$\frac{31}{31}$	% 100	$\frac{28}{28}$	% 100	% 100